

## 「からたちの花」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

からたちの花が咲いたよ。  
白い白い花が咲いたよ。

からたちのとげはいたいよ。  
青い青い針のとげだよ。

からたちは畑の垣根よ。  
いつもいつもとおる道だよ。

からたちも秋はみのるよ。  
まろいまろい金のたまだよ。

からたちのそばで泣いたよ。  
みんなみんなやさしかったよ。

からたちの花が咲いたよ。

問1 「からたちの花」の作者の名前を漢字で答えましょう。



問2 「からたちの花」はいくつの連でできているか漢数字で答えましょう。

問3 「からたちの花」の特ちょうとして正しいものを、次の中から選び○で囲みましょう。

ア：同じ言葉をくりかえすことで、リズムが生まれている

イ：音数にはきまりがなく、自由に書かれている

ウ：昔の言葉づかいで書かれている

エ：「～よ。」とくりかえすことで、読む人に作者の強い気持ちを伝えようとしている

問4 「からたちの花」はどこにありますか。次の文の（ア）～（ウ）にあてはまる言葉を、詩の中からぬき出して答えましょう。

※アは5字、イは1字、ウは2字でぬき出しましょう。

からたちの花は、（ア）（イ）の（ウ）にある。

【ア】

【イ】

【ウ】



問5 作者は、「からたちのとげ」をどんなものにたとえていますか。1字で答えましょう。

問6 「からたち」は秋になるとどうなりますか。詩の中の言葉を使って答えましょう。

問7 「からたちのそばで泣いたよ」とありますが、だれが泣いたのか答えましょう。

問8 「みんなみんなやさしかったよ」の「みんな」とはなにか答えましょう。

問9 作者が「からたちの花」の詩を書いたときの説明として正しいものを選び○で囲みましょう。

ア：からたちの花のようすを人から聞いて書いている

イ：からたちの花についての思い出を書いている

ウ：からたちの花を見ながら書いている

エ：からたちの花を想像しながら書いている



問10 「まろい金のたま」とは何のことか答えましょう。

問11 に入る言葉を詩の中からぬき出して答えましょう。



# 「からたちの花」定期テスト対策練習問題

## (解答)

問1 北原白秋

問2 六(連)

問3 ア

### 【解説】

ア：「白い白い」や「青い青い」「まろいまろい」「みんなみんな」など、同じ言葉をくりかえすことで、リズム感を出し、その言葉の印象を強めているよ。

イ：「からたちのはながさいたよ(12音)」「しろいしろいはながさいたよ(13音)」「からたちのとげはいたいよ(12音)」「あおいあおいはりのとげだよ(13音)」というように、どの連も12音と13音の組み合わせになっているので、音数にきまりがあるよ。

ウ：「花が咲いた」「とげはいたい」…など、今と同じ言葉をつかっているね。

エ：「～よ。」は、作者が読む人に「やさしく」語りかけているような印象を生み出す働きがあるよ。



- 問4 【ア】いつも通る  
【イ】畑  
【ウ】垣根

問5 針

問6 まろい金のたまがみのる

問7 作者

（「北原白秋」でも良い。ほかにも、「わたし」・「自分」など「詩を作った本人」という意味の言葉であればOK）

【注意】「からたちのそばで泣いたのは、私」で、「私」とは、作者の「北原白秋」であるという考えが一般的（よくある考え方）だけれど、「私」は、山田耕作さんだという考え方もある。でも、この問題が出された学校での正解は、「私＝作者の北原白秋さん」だったので、考え方によって正解が変わってくる問題なので注意しよう。

問8 からたち



## 問 9 イ

## 【解説】

- ア：からたちの花のようすを伝える人のことは特に書かれていないね。
- イ：花が咲く時期や、実をつける時期は同じではないね。また、「みんなみんなやさしかったよ」という言葉から、作者の思い出が書かれていることがわかるよ。
- ウ：花が咲く時期や実をつける時期は同じではないので、「見ながら」ではないね。
- エ：「想像」であることがわかることは特に書かれていないね。

## 問 10 (例) からたちの実

※からたちがつける実、からたちになる実などでもOK

## 問 11 白い白い花が咲いたよ

